

冬ノ五裏

たびのそらにてとしのくるゝは

うき身こそいとひながらも哀へあはれなれ

月をながめてとしのくれぬる

世中あらぬさまになりてのち新院へしんめん

御ぐしおろして仁和寺へにんわじの北院へきためん

おはしますなりと聞て参りたりしに

●（岡？現時点不明）賢阿闍梨へかうけんあざりへ出あひたりしに月あか

く／＼てなにとなくこゝろもあらぬやう

にてあはれに覚えて